

社会福祉法人みたか福祉会

令和4年度 事業計画書

- I. 全体方針
- II. 法人概要
- III. 法人役員等
- IV. 会議の開催および監事監査の実施
- V. 事業所概要
- VI. おもな活動予定

I. 全体方針

法人設立6期目を迎え、事業開始から丸4年をこえました。一昨年より新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業所運営においても感染症対策が日々の業務の中で重要な位置づけを占め、利用者の安全、職員の安全に対して細心の注意を払い業務に臨んでおります。

しかしながら、安定した法人運営と各サービス部門における職員の確保と定着、人材の育成、法令を遵守した事業運営、利用者の確保、財務体質の安定化など課題は多く、まだまだ安定した運営とはいえないところではあります。

次年度の目標として「人間力の強化」を掲げたいと思います。

1、より良いサービス提供を継続するため、人材の定着化

(1) 人材の確保

人材不足は業界全体の課題となっています。当法人においても例外ではありません。事業の安定的な運営を担保するには、まだ十分とはいえない状況にあります。求人活動において、これまで以上に法人の魅力を多方面から発信し、求職者に訴求することが求められます。

そのために、外部機関（資格養成校・人材紹介事業者など）と良好な関係をつくり安定的な紹介をいただくこと、さらには職員みずからが紹介したくなるような職場づくりをおこなうこと、など様々な方法で人材の充実に努めていきます。

(2) 人材の定着

面接時の見極めがなかなか困難であり、採用のミスマッチを起こすこともあり、入職後短期間での離職もありました。まずは採用時の見極めを強化していきます。

また、入職時には一定期間の評価期間（必要に応じて有期契約による雇用期間）を設けます。入職後は、業務の遂行能力だけではなく人間性や協調性を見極め、こちらが求める人材に近づけるように働きかけをおこなうことで定着につなげていきます。

あわせて、長く勤務を続けていただくために、利用者の重度化にともなう職員の負担軽減、転倒リスクや急変を早期発見するためのICT機器の導入、なども各部門と協議のうえ進めていきたいと考えます。

(3) 人材の育成

十分な研修体制を作り上げることができず、能力のある職員への依存傾向が強かったことは、今年度までの反省すべき点と考えます。全職員が主体的に行動できるように規範を示し、みずからの職務に対する意識や役割を浸透させていきます。

また、職員としての能力にばらつきがあるため、介護職・医療職として求められるスキルへの引き上げを図っていきます。全員が同じ知識や情報を得られるように、オンライン研修などを活用し、法人全体として人材育成をおこなっていきます。

さらに、法人内のサービス特性を活かし、グループホームと看護小規模多機能に所属する職員同士が、交流形式でおこなう研修を検討していきます。認知症ケア・医療的ケア・身体的ケアのスキルを高めるだけでなく、おたがいの取組みについても理解を深める機会をつくっていききたいと考えます。

2、ご利用者・職員・地域の方々に安心していただける健全な経営

(1) 運営体制の整備

法令に定められた基準にそったサービス提供をおこなうため、事業所に求められる運営体制の整備を進めていきます。

特に、今年度の外部評価（東京都福祉サービス第三者評価）によってあぶりだされた4点（①サービス運営体制や業務の取組み方の見直し、②感染症対策の強化、③感染症・災害発生時の業務継続に向けた対応強化、④災害時の地域との連携強化）を軸に、BCP（事業継続計画）の策定、シミュレーションや訓練実施などを進めていきます。

あわせて、各サービスにおける機能強化や質の向上を目指し、人員配置の適正化や加算取得などについても検討を進めていきます。

また、感染症拡大防止・事故防止・虐待防止・ハラスメント防止の観点から、法人内における各リスクを最小限に抑えるために、行動指針の周知や業務の平準化をおこなっていきます。

(2) 認知度の向上

医療機関からの利用者紹介や密接な連携、三鷹市の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのPR活動、地域ケアネット委員会への参加などにより、徐々に法人の知名度も上がり、具体的なご利用につながるケースも増えてきました。

次年度は、さらなる利用者確保につなげるため、法人ホームページやウェブ媒体での発信力を強化していきます。外部機関やご家族・関係者の皆様に向けて、事業内容をわかりやすく提示し、営業ツールのひとつとして訴求力を高めていきます。

3、事業を安定して維持継続できるための経営基盤づくり

(1) 財務体制の安定化

財務の安定化には常に収益を意識した事業活動を行うことが大切となります。そのためにも、全部門での稼働率を高めるとともに、無駄を省き業務の効率化を図ることが求められます。

現時点では、事業運営における収支については黒字化が見込めるまででしたが、事業外費用（金融機関借入金返済・支払利息等）を含めたキャッシュフロー上での黒字化まで、あと一步のところまで未達となりました。次年度はさらに稼働率を意識し、業務の効率化と人財の有効的な配置により、安定した財務体制の構築を図りたいと考えます。

繰り返しになりますが、法人運営および事業運営の要は、人財にほかなりません。これからも法人運営と事業運営を安定的におこなっていくため、上記の目標にそった対応策を講じていきたいと考えております。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

II. 法人概要

法人名	社会福祉法人みたか福祉会	
所在地	〒181-0005 東京都三鷹市中原4丁目34番22号	
法人設立日 (認可日)	平成29年1月10日	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症対応型共同生活介護事業 ・ 看護小規模多機能型居宅介護事業 ・ 訪問看護事業 ・ 企業主導型保育事業 	
事業開始日	平成30年3月1日	
職員体制 (2021.4.1 現在)	職種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員 30名 (常勤16名/非常勤15名) ・ 看護職員 10名 (常勤2名/非常勤8名) ・ 調理職員 4名 (常勤0名/非常勤4名) ・ 事務職員 2名 (常勤2名/非常勤0名) (保育職員5名: 常勤3名+非常勤2名) 合計 47名
職員体制 (2021.4.1 現在)	部門別	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム 22名 (常勤11名/非常勤11名) ・ ナースケアセンター 23名 (常勤7名/非常勤16名) ・ 訪問看護ステーション10名 (ナースケアセンターと兼務) ・ 法人管理課 2名 (常勤2名) (保育園5名: 常勤3名+非常勤2名) 合計 47名

III. 法人役員等 (五十音順/敬称略)

項目	氏名 (主な肩書き)
理事長	山田 義剛
理事	加藤 雅江 (杏林大学 保健学部 健康福祉学科 教授) 酒井 利長 (株式会社三鷹利久 代表取締役) 西尾 隆 (国際基督教大学 教養学部 教授) 日向 博 (特別養護老人ホームケアコート武蔵野 施設長) 山田 早苗 (多世代コミュニティホームふぁみりあ 統括施設長)
監事	酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 佐々木信夫 (税理士法人マック・ジェイ 代表社員)
評議員	有江 典子 (こどもデイサービスらびい 管理者) 香川 卓見 (三鷹市大沢地域包括支援センター センター長) 国沢 真弓 (一般社団法人発達障がいファミリーサポートMarble 代表) 野村 優子 (杏林大学医学部付属病院 小児科医 医師) 星野 和子 (三鷹市民生・児童委員 前会長) 松木 隆佳 (リベラルアーツ法律事務所 所長 弁護士) 宮崎陽市郎 (株式会社ミタカロジスティクス 代表取締役)

評議員 選任・解任委員	酒井 利高（小金井市介護保険運営協議会 副会長） 品川 健（社会福祉法人みたか福祉会 法人管理課 職員） 田中今朝壽（介護老人保健施設三鷹中央リハケアセンター 事務長）
----------------	--

IV. 会議の開催および監事監査の実施

(4-1) 理事会／評議員会／評議員選任・解任委員会の開催予定

項目	開催予定月	内容
理事会	第1回理事会 令和4年5月	令和3年度事業報告について 令和3年度決算報告について その他決議事項
	第2回理事会 令和4年10月	令和4年度補正予算について その他決議事項
	第3回理事会 令和5年3月	令和5年度事業計画について 令和5年度収支予算について その他決議事項
評議員会	第1回評議員会 令和4年5月	令和3年度事業報告について 令和3年度決算報告について その他決議事項
評議員 選任・解任委員会	開催に必要な要件が 生じたとき	

(4-2) 監事監査の実施予定

実施予定月	監事名	監査項目
令和4年5月	酒井 利高 佐々木信夫	法人定款第11条第1項の規定に基づき、平成28年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

V. 事業所概要

事業所名	定員
グループホームふぁみりあ	利用定員 18名（1ユニット9名）
ナースケアセンターふぁみりあ	登録定員 29名（1日の利用定員：通所15名／宿泊5名）
訪問看護ステーションふぁみりあ	利用定員 定数なし
ふぁみりあ保育園	利用定員 11名（0歳＝3名／1歳＝4名／2歳＝4名）

※各事業所の事業計画は、別紙「事業計画書」を参照

VI. おもな活動予定

月	内 容	月	内 容
4 月	全体研修／年次点検（電気 & 消防）	10 月	ハロウィン
5 月	端午の節句／消防訓練	11 月	消防訓練／G H 第三者評価
6 月	年次点検（エレベータ）	12 月	クリスマス会
7 月	七夕	1 月	初春会
8 月	夏祭り	2 月	節分
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り

◇内部イベント開催

- ・ 偶数月：運営推進会議
- ・ 月 2 回：経営会議、危機管理会議
- ・ 毎 月：各種委員会

◇外部イベント参加

- ・ 4 月・7 月・10 月・1 月：G H 看小多機連絡会
- ・ 偶数月：ケアネット・しんなか（地域住民団体）

◇外部研修への参加

- ・ ケア専門職交流会（地域包括支援センター主催）
- ・ 三鷹市介護保険事業者連絡協議会の研修
- ・ 在宅医療・緩和ケアカンファレンス
- ・ 三鷹消防署主催の防火実務講習会……年 2 回

◇外部研修の受入れ

- ・ 杏林大学医学部の学生による見学研修
- ・ 職業訓練校の学生による職場体験

◇広報活動

- ・ ケアネット・しんなか委員の当事業所見学会
- ・ 三鷹市介護保険事業者連絡協議会会員の当事業所見学会
- ・ 初任者研修受講生向け企業説明会への参加
（鷹口コネットワーク大楽／クリエ福祉アカデミー 等）

以上